

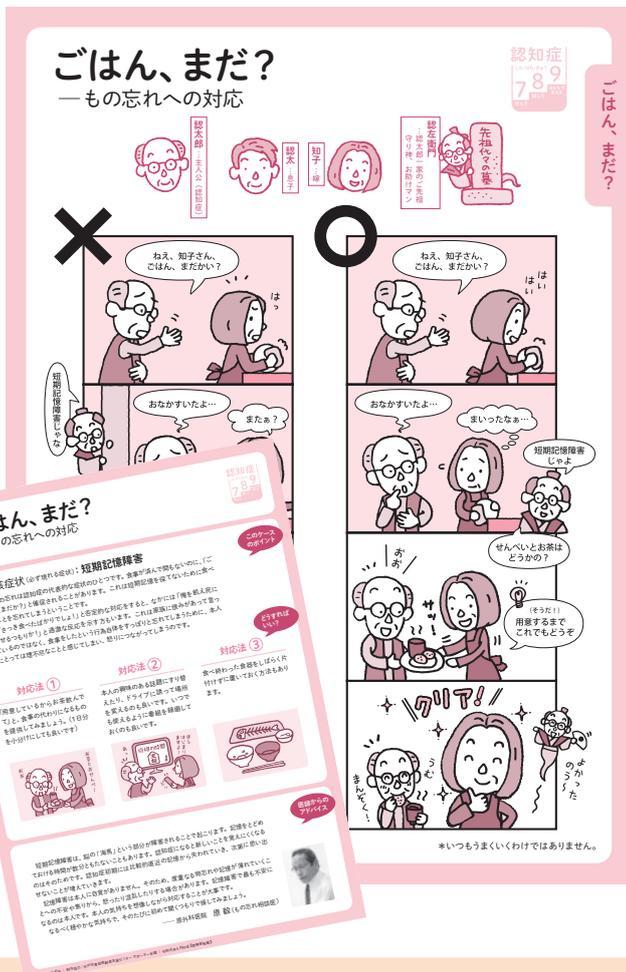
認知症の人と家族のためのヒント集

「認知症789(しち・はち・きゅう)」

問合せ／地域支援センター(☎297-5903)

「認知症789(しち・はち・きゅう)」は、認知症の症状ごとに対応方法をまとめたヒント集となっています。表面に、認知症の症状への対応方法をエピソードごとに4コマ漫画で掲載。裏面には、「もの忘れ相談医」を中心とした医師が、症状の医学的背景の説明や、具体的な対応方法を紹介しています。認知症の人とその家族が、日常で起こるできごとに、どのように対応すれば良いのか分かりやすい内容となっています。市ホームページから入手できますので、ぜひ活用してください。

これまで、市では、認知症に対する理解を深めてもらうためのパンフレット「認知症123(いち・に・さん)」や、体や頭を働かせ楽しみながら認知症を学ぶことができる「認知症456(すごろく)」などを作成してきました。令和7(2025)年には、高齢者の5人に1人が認知症になると予想されています。認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた場所で「自分らしく」暮らし続けることができるような地域づくりを目指していきましょう。



▼「認知症789(しち・はち・きゅう)」

東部高齢者支援センターと東部高齢者支援センターサポーター会議が、水戸市医師会もの忘れ相談医や認知症疾患医療センターの医師監修のもと作成しました。市公式YouTubeチャンネルでは、4コマ漫画に音をつけた動画版も公開しています。あわせて活用してください。



掲載エピソード

- ①薬を飲み忘れている
- ②財布を盗られた!
- ③鍋を焦がしてしまう
- ④何度も確認
- ⑤何度も同じことを聞いてくる
- ⑥わたし頭がおかしくなっちゃった
- ⑦今は朝?昼?夜?
- ⑧虫が見える
- ⑨ごはん、まだ?
- ⑩風呂、入らん!
- ⑪怒りっぽくなった
- ⑫汚れ物を隠す
- ⑬車にこすり傷がたくさんある
- ⑭お札で買い物をする
- ⑮夏なのにコートって
- ⑯夕暮れ時は忙しい
- ⑰夜寝ない
- ⑱なんでも集めてため込む
- ⑲家に帰ってこれなくなった
- ⑳あんた、誰?